

2015年8月16日

技術士業務研究会／平成27年9月度例会案内

☆協 力：日本技術士会 近畿本部

☆開催日時：平成27年9月11日（金） 18:30～21:00

☆開催場所：大阪科学技術センタービル601号室

☆開会のご挨拶：業務研究会 部会長 技術士（機械） 中塚 勉 氏

☆講 演

1. (18:35～19:35)

【ご講演タイトル】：『グローバル化学物質規制の動向』

奥村技術士事務所代表 技術士（環境） 奥村 勝 氏

【ご講演概要】

21世紀は環境の時代と言われています。特に人類の発展に大きく貢献してきた化学物質は、その有害性について話されるようになってきた。2002年の環境サミットにおいて「化学物質が人の健康と環境にもたらす著しい悪影響を最小化する方法で、使用・生産されることを2020年までに達成する」と合意した。欧州では2006年7月のRoHS指令、2007年6月のREACH規則が施行されました。世界の各国は、この規制をモデルに同様な化学物質規制を展開しています。特に、日本企業に關係の深いアジア地域の各国でも化学物質規制について着手し始めました。講演では海外展開している日本企業に求められる対応について製品含有化学物質の管理について触れる。

2. (19:45～20:45)

【ご講演タイトル】：『科学技術の不確実性』

公益社団法人日本技術士会 近畿本部幹事 技術士（機械、総合技術監理）田岡 直規 氏

【ご講演概要】

水俣病、BSE（狂牛病）、地球温暖化問題等には、当時の科学技術的知見では解決できない、常に科学技術研究において未知の部分が含まれている。このように、科学技術の知識の状態としては、自然現象や社会動態の科学的分析結果に、断言のできない内容が含まれている状態を「科学技術の不確実性」という。昨今、このような「科学技術の不確実性」の下で、技術者が意思決定を迫られるケースが増加しつつある。今回、近畿技術者倫理研究会から出版した「創作事例に学ぶ技術者倫理の実学」をもとに、「科学技術の不確実性」について述べる。

☆ 質疑・応答、業務研究会連絡事項など

☆ 閉会挨拶：技術士業務研究会例会担当幹事 技術士（化学） 上田 修史 氏

☆例会後、珉珉にて講師を囲んで懇談会を開催予定、有志の方々のご参加を願います。

以上

◇定 員：先着順にて30名
◇参加費：業務会研究会会員は無料、業務会研究会会員外は1,000円
◇申 込：2015年9月6日（日）までに下記へお願いします。
懇親会への参加・不参加も合わせてご連絡下さい。
業務研究会 和田 克利 (gyoumuken@gmail.com)

【講師のご経歴】

奥村 勝 (おくむら まさる)

【経歴】

生年月：昭和 24 年 11 月生まれ

学歴：大阪大学工学部冶金学科卒業

職歴：富士電機㈱

現職

①奥村技術士事務所代表

②(公社)大阪技術振興協会理事 (エコアクション 2.1 地域事務局長)

③NPO 法人) 関西技術経営コンサルタント理事長

専門分野：半導体設計・プロセス技術

資格：

①技術士 (環境部門)

②エコアクション 2.1 審査人

趣味：特になし

田岡 直規 (たおか なおき)

【経歴】

出身地：京都

生年月：1957年4月

学歴：1983年京都大学大学院修士課程修了

1988年ロンドン大学インペリアルカレッジ大学院修士課程修了

現職

①公益社団法人日本技術士会 近畿本部幹事、機械システム部会副部会長

②京都大学大学院・立命館大学・龍谷大学等非常勤講師 (技術者倫理)

専門分野：機械設備 (導管技術)、環境保全、技術者倫理、内部監査

資格：技術士 (機械・総合技術監理部門)、CIA (公認内部監査人)

趣味：ゴルフ、将棋、ウォーキング

以上